

主体的な学びを実現させる授業の創造
～「むかいひがし」の対話を活かして～

【教科横断的なカリキュラムマネジメント】

課題を克服するために効果的な教科等を関連させる。

【逆設計の授業】

「ふりかえり」の姿を想定する。

【つかむ】 課題把握・つかむ

- ・前時の振り返りを共有し，新たな問いを作る
- ・与えられている情報と問われている内容を把握する
- ・絵，グラフ，表など様々な資料の種類に出会う
- ・絵，図，数直線に表して理解する
- ・複数の資料からの情報や問いの読み取る
- ・複数の資料から必要な情報を取捨選択する

【考える】 自力解決

- ・既習を活用しようとする
- ・言葉と式，図を関連付けながら説明，表現する
- ・複数の考えや説明方法を見つける
- ・考え方のよさを見つける

【深める】 協働的に学ぶ

- ・友達の考えを聞いて，見通しをもつ
- ・友達に分からないことを尋ねる
- ・友達の分からないことを捉えて教える，相談する
- ・自分と友達との考えを比較，分類，関連付けて話し合う
- ・友達の考えや説明を聞いたり，話し合ったりするなかで，よりよい考えや説明の方法にたどり着く

「むかいひがし」を活かして

【まとめる・ふりかえる】 まとめ・振り返り

- ・評価問題で確かめ，納得する
- ・学びを捉えなおす（算数用語を活用し，自分の言葉で）
- ・自己の変容に気付く（自己有用感・自己肯定感の向上）
- ・資質・能力の向上に気付く（教科の枠を超えた学びを得る）
- ・新たな課題の発見（知的好奇心の喚起，学習意欲の継続）

多面的な振り返りの視点

主体的・対話的な学び「むかひがし」